

山岳遭難防止実施講習 報告

さいたま市山岳連盟
遭難対策委員会

日時 : 平成 22 年 9 月 26 日(日) 9:00~16:00

場所 : 横瀬二子山

講師 : 埼玉県警 山岳救助隊 5名

受講人数 : 19名

<講習内容>

1. 今年度の埼玉県内における山岳遭難事故の発生状況と傾向

今年度の事故件数は例年より多い 43 件、最近の傾向としては、高尾山や富士登山をきっかけとする登山ブームの影響か登山経験 1、2 回という若年層による道迷い事故が目立つ。遭難者の家族から、山に行ったまま帰宅しない旨の通報を受けたが、行き先が秩父というだけで、どこの山なのか特定できず捜索が難しくしたケースもあった。最低でも行き先ぐらいは伝えておくことが必要。携帯電話からの電波で位置を特定できる場合もあるので、携帯電話を携行する際は、電源を入れておくのが望ましい。

低体温症への注意も必要。沢登り中で、大人数のパーティーの場合などは、危険箇所の通過時の順番待ち中なども身体が冷え、体力を消耗する原因となるので注意が必要。

2. 登山における装備、登山地における情報収集

二子山登山口にて登山における装備品についてチェックしながらの講義。

また、講師から川の水位について、「今日の川の水量は通常と比べ多いか少ないか？」との質問。受講生は川岸の水位の痕跡から、今日の流量を推測したが、講師は、「自分で判断せず、現地の状況を良く知っている地元の方に情報収集するのが一番」との回答であった。

3. 登山に必要な体力について

資料に基づき、椅子立ち上がり、上体起こし、片足立ちの 3 種の体力測定による脚力診断を行った。

客観的な体力測定により、自らの脚力を測定し、登山中の転倒の可能性等を把握しておくことは重要である。

4. 事故防止のための注意喚起、声掛け

2 班に分かれ、リーダー経験のないメンバーにリーダー、サブリーダーになってもらい、二子山登山道に入る。先頭者はルート上の危険箇所について後続に声を掛け注意喚起しながら行動する。

5. 登山ルートと地図

途中で、実際の登山道と国土地理院 1/25,000 地形図に記載された登山道の違いについて指摘。国土地理院の地形図には載っていない道も多い上、大体の位置は合っているが、細かくは合っていない場合もあるので注意が必要である。

6. 遭難時の発炎筒による目印

救助が必要となった場合に位置を示す合図として車載用の発炎筒が有効であるが、谷

筋では、煙は谷に沿って流れ、上昇しないので使えない。(実際に谷筋で発炎筒を炊いて煙の流れを観察した。) 注意が必要である。

7. 様々な危険への対応

近年、スズメバチによる被害が多くなっている。スズメバチの巣の横を通過する場合は、見張りのハチに遭遇したら素早く通過すること。目安として5秒。巣から多数のハチが出てくる前に通過すること。実際にハチに襲われた場合は、地面を転がりながら巣から離れていくのが良い。

落石があった場合、地面に伏せて何よりも頭を保護する。実際に石を落とし、石の動きとスピードを体感した。

8. 事故時の搬出について

二子山頂上で昼食の後、講師より、ここで事故があった場合の搬出方法について質問。地図を確認し、山頂の東南東方向に鉄塔があり、そこへ上がる車道があることを確認。ただし、地図によれば、二子山と鉄塔を結ぶ尾根に道はない。しかし、尾根がなだらかで距離も短いことに着目し、搬出の可能性を探るためリーダーが鉄塔方面へ続く尾根を偵察したところ、比較的明瞭な踏み後を確認した。搬出方法の検討にあたっては、周辺の情報把握し、あらゆる可能性を探ってみることが重要である。

9. 事故者の搬出

下山途中でメンバーの一人が足を骨折したという想定で、事故者を背負っての搬出を実際に行った。

- ・ 大型ザックを逆さに背負い事故者を背負う。
- ・ 背負者の肩に当たる部分は、細いテープ部分となるのでタオル等を当てパッド代わりとする。
- ・ 救助者の腰ベルト（スワミベルト）から前、後各2本のスリングを出し、登り、下りで、それぞれ補助者が支える方式で搬出。
- ・ 傾斜がきつくなった場合、背負者は後ろ向きで下る。この場合、背負者は自分の足場が見えず非常に不安になるので、補助者は背負者の靴を持って足場に誘導すると良い。

搬出にあたりへりを要請した方が良いという意見もあがったが、講師からは、「今回パーティー程度の人数、力量であれば、まずセルフレスキューを第一に考えてもらいたい。」とのことであった。

9. おわりに

今年は県内で遭難者の救出に向かった防災ヘリが墜落するという悲惨な事故がありました。

登山を行うものの責任として、事故防止とセルフレスキューについて再確認し、取り組んでいかなければならないと感じました。

以上